

国語 五十一 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① □ ていきあつ が □ いどう してきた。

② □ げんいん をつき □ とめる のは □ ようい では

ない。

③ □ しえい の □ たいいくかん の □ ばしよ を □ うつす。

④ この □ かかく では、 □ りえき は □ のぞめ ない。

⑤ □ やさしい □ もんだい から □ はじめる。

⑥ おじは □ ぼうえきぎよう を □ いとなむ。

国語 五―二 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{たい} そう □^{せんしゆ} が、 □^{おう} えん □^{だん} の □^{せい} え

んに □^{みごと} な □^{えんぎ} で □^{こたえる} 。

② □^こ きようの □^{さくら} を □^{みる} のは □^{ひさし} ぶ

りだ。

③ □^{じんこうえいせい} は □^{えいきゆう} に □^{つかえる} わけ

ではない。

④ □^{びようき} のために □^{ながい} ねむりについた。

⑤ □^{えきたい} が □^{かがくはんのう} を □^{おこす} 。

⑥ □^{えき} から □^{がつこう} までの □^{みち} を □^{おうふく} する。

国語 五―三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① じょうりゆう じょうりゆう から ひきい にかこう むかう 。

② せんせい せんせい に ひきい られて かりこうしゃ から

しんこうしゃ しんこうしゃ へと うつる 。

③ かぶんすう かぶんすう を たいぶんすう に なおし て

かいとう かいとう する。

④ こころよい こころよい が ふく かいせい の ひ に、 かわら

で すぐす 。

⑤ かこ かこ を かえる ことは ふかのう だ。

⑥ かくりつ かくりつ の もんだい を とく 。

国語 五―四 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□に□。

② □の□を□、□にあせをかく。

③ □で□た□を□の□

□で□。

④ □クラスに□。

⑤ □の□が□の□をすす

める。

⑥ □な□を□。

国語 五―五 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に当てはまる漢字かんじを書きましか
送りがなにも気きをつけましょう。

① こうえん
に よりみち
して さかあがり
の

れんしゅう
をする。

② せいかく
な らぎょう
には たしか
な ぎじゆつ
が ひつよう
だ。

③ きしゆくしゃ
の きそく
を まもる
。

④ ひがし
の ぎやく
の ほうかく
が にし
だ。

⑤ ながれ
に さからう
ように あるく
。

⑥ きゆうしぎ
の きかい
を あたらしく
する。

国語 五十六 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① きのかのひとたちのいりは

きんしだ。

② むだんきょうかいせんをこえることは

ゆるされない。

③ となりとのにひゃくえんきんいつの

みせがあるが。

④ こがたせんたいへいようをこうかいする。

⑤ なつをテーマにいつくよむ。

⑥ だいすきなくるまのものをけいたうのために

ちよきんする。

国語 五―七 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	--------------	----	---	---	---	------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ よい □ けいけん □ ができたと □ かんしゃ
する。

② □ ちち □ が □ せいめいほけん □ に □ かにゆう
する。

③ □ へや □ をできる □ かぎり □ せいけつ □ に □ たもつ
。

④ □ ながい □ じかん □ を □ へ □ じけん □ は □ かいけつ

した。

⑤ □ たち □ ぼごしゃ □ いがい □ の □ かた □ がっこうない
の □ へい □ の □ せいげん □ を □ している。

⑥ □ せいぎ □ の □ だいはっけん □ までは、 □ けわしい

□ みち □ のりだった。

国語 五十八 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
とりくんだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の □ に 当てはまる 漢字 を 書き ませう。
送りが にも 気 を つけ まし ょう。

① ゆうじん
に こじんてき
な な や み を そうだん
する。

② はらを へらし
た くま
が ひとごと
に

あらわれる
。

③ げんざい
の せいじ
の ありかた
を かんがえる
。

④ げんりよう
に とり
く だ こうか
が てる
。

⑤ くすり
が きい
て、 いのち
が すくわ
れた。

⑥ きゆうきゆうしや
が いえ
の きんじよ
に ていしや
した。

国語 五十九 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番	取り組んだひ 月 にち
-------------------	--------------	----	---	---	---	-------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① くわを□
□
て□
を□

② □と□の□を□
□

③ □の□は□で□
□

④ □の□の□に□がある。

⑤ □する□に□を

□。

⑥ □な□を□。

⑦ □の□に□は□の□

から□ふんしている。

国語 五—十 (書き)	第五学年のかんじ(書き)	な前 年 組 番	取り組んだ日 がつ 日
-------------------	--------------	-------------------	-------------------

次の文の□に当てはまるかんじを書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① □に□を□て
さらいげつ ふたたび けつえき とつ

□します。
けんさ

② □の□に□できるように
じつさい さいがい たいおう
そなえる。

③ □は□の□をしている。
つま りようこう じゅんぴ

④ □の□テストの□をする。
かんじ さい さいてん

⑤ □は□として□だ。
せんせい あいさいか ゆうめい

⑥ ゆう□が□をもらって□。
しょうしや しょうひん よろこび

国語 五十一 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① のをする。

② をみとめ、する。

③ にれたにを
。

④ をさせるをする。

⑤ としたをきれいにする。

⑥ にです。

国語 五十二 (書き)	第五学ねんの漢字(書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{えだ}を□^{ささえる}よう□^{しじ}を□^{だす}。

② □^{おおさかふ}の□^{ししや}に□^{しゅつちよう}する。

③ □^{きようし}への□^{みち}を□^{ところざす}。

④ □^{しやうねん}よ、□^{たいし}をいだけ。

⑤ □^{ひつよう}な□^{しりよう}を□^{しめす}。

⑥ □^{たかい}□^{ところざし}をもって□^{しごと}をする。

国語 五十三 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□た□がないか□。

② □が□の□の□を□。

につける。

③ □は□と□れている。

④ □あたらしい□□で□を□。

⑤ □の□について□に□。

をする。

⑥ □を□する。

国ご 五—十四 (かき)	第五がく年の漢字(かき)	名前	年	組	番
とり組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を、□りよう□を
がくぎよう おさめ しゅう しょうしよ

□
うけ とる

② □するので、□の□を
そこびえ あつで もうふ

かける。

③ □してくれた□にお□を
しゅじゅつ せんせい れい

□
のべる

④ □と□について□する。
しゅい じゅい べんぎよう

⑤ □のかばんを□て□する。
ぬのせい もつ つうがく

国語 五十一十五 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① お□の□を□。
まつり しょうたいじょう つくる

② □の□を□。
そぎょう じゅんじよ まもる

③ □の□を□に□。
じゅうにん ていど きやく いえ まねく

④ □な□に□をかざる。
さつぷうけい へや はな

⑤ □を□てかくれる。
いき ころし

⑥ □するための□を□。
さんか じょうけん みたす

こく語 五十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
--------------------	--------------	----	---	----	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① じぶん の けんこうじょうたい を つね に
たしかめる。

② じょうしきはずれ の なさけ ない こうどう
だ。

③ そしきない じょうほう を きょうゆう
する。

④ がいこく から てっこうせき を ゆにゆう
する。

⑤ きはちじょう はちじょうしま つたわる おりもの
黄八丈は八丈島に だ。

⑥ しよくにん が て ぎわよく ぬの を おる
。

こく語 五十七 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	---------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① せいじ の せいど を あらためる 。

② たいふう の いきおい が まし ている。

③ せんせい じょう ひと は に あつい ひと だ。

④ ぶし せいりよく つよまり の が 、 やがて

ぜんこく とういつ を した。

⑤ しあい せいしんりよく つよち では の がものを

いう 。

⑥ にほん れきし の についで まなぶ 。

国ご 五十八 (かき)	第五学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□にあてはまる漢字をかきましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① しょうひぜい は、 どうにゅう どうしよ さん パーセン

トだった。

② せきにんかん のある ひと にキャプテンを
まかせ よう。

③ たいかい ですぐれた せいせき をおさめる。

④ せつぞくご に き をつけて ぶんしやう を かく。

⑤ そぼ に てがみ を かく。

⑥ なかま の しつぱい を せめ ない。

国ご 五十九 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	---------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□をとらえる。

② つい□を□てしまう。

③ □のピンチだ。

④ □を□ていた□が□に

□された。

⑤ □は□を□して□から□

した。

⑥ □はなし□あい□の□ば□を□もうける□。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □が□に□ている。

② □の□の□を□に

□。

③ □でロケットの□を□

している。

④ □は□から□れている。

⑤ インド□を□する。

⑥ □の□に□を□。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字（書き）	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ みず かさが □ まし た □ ばあい に □ そなえ て

□ とて を □ きずく 。

② □ きそく を □ ふやす 。

③ □ はは が □ いえ の □ ぞうちく を □ ちち に □ ていあん する。

④ □ どう メダルをかく □ とく できて □ ゆめ のようだ。

⑤ □ こたえ を □ みちびき □ だす 。

⑥ □ せんせい の □ しどう で □ やきゆう に □ むちゆう になる。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① すいがい
[] を ふせぐ
[] 。

② かくど
[] を はかる
[] 。

③ ふそく
[] の じたい
[] に そなえる
[] 。

④ ち
[] いきの どうろ
[] を せいび
[] する。

⑤ ぼうさいくんれん
[] に さんか
[] する。

国語 五十二十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ただしい はんだん を くだす。

② こころ が ゆたか になる。

③ みず が ほうふ な とち で のうぎよう を いとなむ。

④ ひようばん の よい べんごし をやとう。

⑤ さが していた ひと の いばしよ が

わかる。

⑥ むかし の じゆうぎよ について しらべる。

国語 五―二十四 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{そんな}をしないように□^{かいもの}をする。

② □^{にがて}な□^{がくしゅう}ないよう□^{ふくしゅう}をする。

③ □^{はは}は□^ちいきの□^{ふじんかい}に□^{ぞく}している。

④ □^{りえき}を□^{あげる}ための□^{どりよく}を

□^{つづける}。

⑤ □^{のうりつてき}に□^{しごと}をする。

⑥ □^{てきせつ}な□^{ことば}を□^{えらん}で□^{はなす}。

国語 五―二十五 (書き)	第五がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □に□を□。
ともだち ほん かす

② □をにくんで□をにくまず。
つみ ひと

③ □で□だことを□
ぼうはんきょうしつ まなん ぼうこく

する。

④ □の□を□する。
せいどうき ふくせいひん しゅつぴん

⑤ □を□する。
たいど ほりゆう

⑥ □のおとずれを□。
はる つげる

国語 五―二十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① けんこう を たもつ ために ぼういんぼうしよく はし
ない。

② うま が あばれる 。

③ ぎりにんじょう を たいせつ にする。

④ くわしい せつめい は しょうりやく します。

⑤ かいぎ を ひこうかい で おこなう 。

国語 五―二十七 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① チームの□を□。
しどう まかす

② □をわたる。
おうだんほど

③ いくつかの□を□する。
かいしゃ とづいて

④ □の□を□。
あいて もうしで ことわる

⑤ □の□につく。
かいちよう しょく

こく語 五―二十八 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
----------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① きん ろう は こくみん の ぎむ だ。

② タンポポの わたげ が とみ。

③ しゅやく を つとめる。

④ ずこう で はんが の さくひん を つくる。

⑤ かいがい から めんか を ゆにゆう する。

国語 五十二十九 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □め □が □こえる。

② □りょうしん □の □がいしゅつちゅう □は、 □おとうと □と □るすばん

をする。

③ □うつくしい □ことり □が □め □に □とまる。

④ □あね □は □かいがい □への □りゅうがく □を □きぼう □している。

⑤ □いふく □を □せいけつ □に □たもつ □。

取り組んだ日
月
日

番

名前

送おくりがなにも気きをつけましょう。

次つぎの文ぶんの□に当あてはまる漢字かんじを書かきましょう。

の
を
○

国語 五―三十一 (書き)	第五学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ すいでん
に □ ひりよう
をまく。

② ほしかつた □ もの
が □ はかく
のねだんで □ て
に

□ はいる
。

③ オリンピックの □ きろく
を □ やぶる
。

④ □ こえ
た □ とち
に □ やさい
を □ うえる
。

⑤ □ はたけ
に □ こえ
をやる。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □に□が□。

② □の□に□する。

③ □を□する。

④ 「□の□も□と□られる。

⑤ □には□□がある。

国語 五十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ かぞく
で □ はかまいり
に □ いく。

② □ いろ
の □ たいひ
が □ うつくしい
□ かいが。

③ □ あに
とせい □ くちへ
をする。

④ □ せいこう
する □ かのうせい
が □ たかい。

⑤ □ ひとりごと
をつぶやく。

⑥ □ ぼぜん
に □ はな
をそなえる。

次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① むずかしい □ を □ ゆうをもつて

□。

② □ ガスをほり □、きよ □ の □

を □。

③ □ の □ でマフラーを □。

④ □ を □。

⑤ □ な □ は □ だ。

国語 五―三十五 (かき)	第五学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ひこうき の ねんりよう が ふそく する。

② おとうと が ひゃつかてん で まいご になった。

③ しよくどう で なに を たべる か まよう。

④ にわ で おちば を もやし、いもを

やく。

⑤ せいかく に かいとう を かき こむ。

⑥ キャンプ じよう で まきを もす。

国語 五―三十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ふんまつ の □ くすり を ふくよう する。

② どく を もつ きのこを ところ ないよう
ちゆうい する。

③ こなゆき の まう □ きせつ となつた。

④ とおく に アルプス □ さんみやく が □ みえる。

⑤ いむぎい を □ つかつ た □ りようり を □ つくる。